

お客さま各位

2018年2月8日

株式会社 GCI アセット・マネジメント

2月月初の GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)の運用状況について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当月は月初に米国株式市場の変動が大きくなり、GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)(以下、当ファンド)の基準価額が下落致しました。当ファンドは従来通り、一時的な市場の変動には一喜一憂せず、定められた基本資産配分(ターゲット・ポートフォリオ)に従った運用を行っておりますが、基準価額の変動要因と運用状況について下記の通り、ご報告致します。

1. 基準価額の下落要因について

前日基準価額(終値)との騰落率	2月2日(金)	2月5日(月)	2月6日(火)	2月7日(水)
GCIエンダウメントファンド(成長型)	-0.07%	-0.48%	-2.86%	-2.44%
GCIエンダウメントファンド(安定型)	+0.01%	-0.09%	-1.91%	-3.08%
GCIシステムティック・マクロファンド クラスA	+1.01%	+2.27%	-8.36%	-19.53%
ニューヨーク・ダウ平均株価	-2.54%	-4.60%	+2.33%	-0.08%
日経平均株価	-0.90%	-2.55%	-4.73%	+0.16%

(注)GCI システムティック・マクロファンド クラス A の騰落率は、GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)の基準価額への計上日ベースでの対前日基準価格騰落率。NY ダウ指数は現地日付終値ベース。

当月初における基準価額の下落要因は、主としてオルタナティブ戦略として組入れている GCI システムティック・マクロファンド クラス A(以下、GSMA)の基準価格下落によるものです。

同ファンドは金融市場に現れる中長期の市場トレンドを主な収益源とし、米国株式の買い持ちポジションを保有することで、これまでの上昇トレンドから大きなプラスのリターンを上げてきました(米国株式部分での収益貢献は 2017 年 3 月 1 日から 2018 年 1 月 30 日の累積でプラス 29.4%となっています)。

GSMA は 2 月月初のリバランスにおいて、株式持ち高の削減(1 月対比の総計持ち高で約 3 割の削減)を行いましたが、日米株式のポジションは引き続きポートフォリオのコア資産となっております。こうした状況下、2 月 2 日及び 5 日に起きた米国株式の急落により同ファンドの基準価額は大きく下落しました。

2. 当ファンドの運用状況につきまして

当ファンドは、米国名門大学基金が実践してきた運用手法を模範とする長期かつグローバル分散投資を行っておりますが、基本資産配分として成長型・安定型ともに 36.5%をオルタナティブ戦略に配分することとしており、その配分内で GSMA に投資していることから同ファンドの下落の影響を受けました。

当ファンドにおける GSMA の組み入れ比率はリスク値(年間ボラティリティ)を 10%に調整したものとなっていることに加え、伝統的資産(株式・債券)にも分散されております。

しかしながら、2月2日から2月7日までの基準価額(1月31日基準)の下落幅は、成長型でマイナス 6.1%。安定型でマイナス 5.5%となりました。この間、ニューヨーク・ダウ平均株価はマイナス 4.8%、日経平均株価はマイナス 6.3%の下落となり、日米株価下落の影響を大きく受けました。

2月7日までの年初来リターンは、成長型でプラス 0.5%、安定型でプラス 0.4%となっております。

なお GSMA は、昨年プラス 43.9%(ボラティリティ 10%換算では約 17.6%、概算値。)のリターンを上げるなど、当ファンドのリターンに継続してプラスに寄与しています。また、年初から2月7日までの GSMA の騰落率はプラス 2.9%と依然プラスリターンとなっております。

加えて、年初来での GSMA の当ファンド基準価額への寄与額(2月7日時点、実現益含む概算値)は成長型で約 80 円、安定型で約 170 円のプラスとなっております。

3. 今後の見通し

GCI エンダウメントファンド(成長型/安定型)は、株式・債券・オルタナティブ投資をコア 3 資産とする基本資産配分を維持しながら、シンプルかつ効率的に一定のリスクをとり続けるというブレのない運用姿勢が大きな特徴です。引き続き、市場動向に振り回されたり一喜一憂したりすることなく、オルタナティブ戦略を活用した分散ポートフォリオを堅持し、円資産のリスク・リターンに配慮した長期運用を継続してまいります。

オルタナティブ戦略部分の GSMA についても、引き続き株式持ち高のコントロールについて注視していくとともに、今後とも厳戒態勢で市場を注視し、機動的かつ適切なリスク管理が行える態勢で運用してまいります。

以上

文責：GCI エンダウメントファンド・運用チーム
代表取締役 CEO 山内 英貴